

平成28年度 第2回函南町立図書館協議会 議事録

- 1 日 時 平成29年3月15日(水) 15時～16時30分
- 2 会 場 函南町立図書館 2階 研修室
- 3 出席者 委員長 石田 和久 学識経験者
副委員長 富永 和彦 学識経験者
委員 山邊 義彦 学校教育関係者
今泉 良三 社会教育関係者
中村 忠和 社会教育関係者
酒井 大二郎 学校教育関係者
稲葉 優子 家庭教育活動者

事務局 大沼 裕幸
芹澤 富男
牧野 満枝

- 4 公開・非公開 公開
の 別
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 内 容

- 1 開会
- 2 大沼裕幸 生涯学習課長兼図書館長 挨拶
- 3 報告事項 (1)に係る4件を合わせて事務局より説明
 - (1) 平成28年度事業報告
 - ・平成28年度図書館の利用状況について
 - ・平成28年度実施事業について
 - ・平成28年度蔵書点検結果について
 - ・読書ノートについて

各委員から出されたご意見

委員 来館者と利用者のカウント方法の違いについて、また長期休暇中の高校生などが勉強している人数は、どちらに入るのか。利用者と貸出冊数、返却冊数の違いなども説明願いたい。

事務局 来館者と利用者の違いですが、来館者は、図書館の入口に設置してありますBDSを通った時にカウントされます。つまり、中高生が勉強のために図書館に来た時には来館者としてカウントされます。図書館見学に来た人も来館者に含まれます。ただし、見学会の後に本を借りると利用者数にカウントされます。

利用者数は、本等を借りたり返却したりした場合においてカードを利用すると、そのカード情報により年齢別などの統計になります。館内の中で本を読んだ

場合は、来館者にはカウントされ、利用者にはカウントされません。そのため来館者の年齢別データは、ありません。

委員 中・高校生世代の利用者数は少なくとも、来館者数としては多いのかもしれないということですね。

事務局 函南町の図書館利用者の年齢構成割合は、60歳以上の方が3割と多いのですが、町の人口の年齢構成をみると、高齢化率が高いので町の人口の年齢構成と同様な割合かと思っております。

事務局 本年度の蔵書購入数については、年度末であり購入数の確定ができていませんが、前回稲葉委員からお話のあった大型絵本については、現在町として購入できる大型絵本については、全て購入いたしました。本年度の蔵書構築予定数は、6,000冊でしたが、現段階で6,000冊は超えており、ほぼ予定どおりとなっております。内容は、雑誌・新聞を除く書籍と視聴覚資料となっております。

委員 知恵の和館は、子育て施設との複合施設という利点を活かし、こども図書館に行く大型絵本や紙芝居がたくさん揃えてあり、蔵書数は大きい市より少なくても内容が充実しているという意見をいただきます。良いことだと思います。

委員 来館者数と利用者数を比較すると、来館者数の方が少ない月がありますが、どのような理由でしょうか。

事務局 確認して、次回お答えします。

議長 年齢別利用者数ですが、60歳以上が多いのはわかりますが、40歳代が多いのは、どういうことでしょうか。

事務局 主婦層の利用が多いことと、お子さんを連れた母親が多くなっています。男女比がないのでわかりにくいですが、圧倒的に女性の利用者が多くなっています。

4 協議事項 (1)に係る3件を合わせて事務局より説明

(1) 平成29年度事業計画(案)について

- ・新規事業 幼稚園親子図書館見学会について
- ・新規事業 小学校へのセット貸出事業について
- ・図書館貸出本の返却場所について
- ・放課後子どもプラン会議で出された学童への図書館司書の派遣について(追加説明)

事務局より趣旨の説明

事務局 平成29年度の事業計画は、基本的には昨年度実施してきた事業は継続して行っていく計画です。平成29年度新たに実施予定の事業は、幼稚園親子図書館見学会と小学校へのセット貸出事業です。幼稚園親子図書館見学会は、幼児の読書活動推進と家庭での親子読書推進を図るため計画しました。図書館見学とキッズルームでの読み聞かせを考えています。送迎は、町バスで行います。

また、小学校へのセット貸出事業は、出張貸出を行っていない3校(函南・東・西小学校)に図書館お薦めの本を1セット200冊程度各校1か月ずつの貸出を考えています。その際、個人への貸出も学校司書の先生と協議し考えていきます。丹那・桑村小へのお出張貸出は、両校とも4回ずつ行います。あとはこれまでも

実施してきたおはなし会や、小中学校の図書館見学、学校の職場体験の受け入れを実施します。今年度小学校の図書館見学会は、内容を変えて「ブックトーク」を計画しています。また、毎年8月と12月に子育て支援センターと共同で実施しているわくわくまつりを企画しています。その他にも引き続き内容を充実させて継続していきたいと考えています。

前回、委員からご意見をいただいた、子ども達が借りた本の返却場所を、図書館以外に設けることについては、来年度は事業を限定し、試行実施していきたいと考えています。

また、付け加えて放課後子どもプラン会議で出された、学童への図書館司書の派遣による、読み聞かせや工作教室を長期休業中に計画していきます。図書館も来年は、開館5年目を迎えるので待っているだけではなく、外に出かけて行くことも必要だと考えています。

各委員から出されたご意見

議長 平成28年度実施した事業については、より高めながら平成29年度も実施していく。新規事業も増やしていく。また、外へ出かけて行くということは、大変積極的策として良いと感ずる。

委員 幼稚園親子図書館見学会の時間は、どのくらいになるか。

事務局 図書館での見学会は、1時間程度として、それにプラス送迎時間となっています。

委員 セット本の貸出数が、200冊となっていますが、児童数からみるとまだまだ本の数が少ないように感ずる。

事務局 まだ計画の段階なので、今後学校司書と話を詰めて冊数を検討していきます。

委員 図書館の本を学校へ貸出すというつながりが大事なことと感ずる。最初は、貸出を行わなくても、学校図書館内で閲覧だけでもよいかと感ずる。

議長 学校と綿密に連携し事業を行っていただきたい。

委員 放課後子どもプラン会議で出された学童への図書館司書の派遣については、外に出かけて行くということで、大変意義があることと感ずる。
学童での時間はどのくらいを考えているのか。

事務局 1時間の中で、パネルシアターと簡単な工作を考えています。

委員 町のホームページが最近変更されましたが、どのような経緯ですか。

事務局 図書館システムのバージョンアップによるものです。少しですが、便利な機能も加わりました。慣れるまで戸惑いもあるかと思えます。

委員 中学生の利用促進についてですが、学校図書館の充実とのかねあいもありますが、セット貸出については、中学校も視野に入れていただきたい。中学校では、クラス全員で同じ本を読むことを進めています。そのようなセット貸出も考えていただきたい。

委員 若い世代の利用促進策のひとつとして、漫画の導入検討については、いかがでしょうか？

事務局 漫画は、多種多様であり導入基準が大変むずかしい。

委員 漫画大賞など導入するとよいのでは。また、図書館はフリーWiFiが導入されているが、図書館入口にステッカーを貼るなど、中高生に向けてもっとPRしてもよいのでは。それをきっかけとして、利用が増えることもあると思う。

委員 YAの棚に古典漫画がたくさん置いてあるが、とてもよいと思う。古典漫画から始まり、次に現代語訳の古典本、さらに原文の古典本を読み進めていけると良いと感ずる。

委員 名作本についても漫画がたくさんある。娯楽漫画は、漫画喫茶などに任せるとして、名作本の漫画は揃えてもよいのではないのでしょうか。

事務局 今後の検討課題にしていきたい。

議長 安定した運営に寄与している事業については内容を充実して継続していただき、新たに実施する事業については、更に検討を加えて実施していただきたいと思います。

5 閉会 芹澤参事あいさつ

事務局 平成29年度の第1回目の協議会は7月の中旬頃を予定しております。

日程が決まりましたら改めて通知させていただきますので、よろしくお願い致します。